



今期のRI会長カルヤン・バネルジー氏は、その会長メッセージの中で、家族のことを、特に母子の関係を重視され、世界をより良くしていくためには、如何に家族が大事であり、家族の絆を軸に、人々の営みが円滑なることを強調されています。さて今年の話題は、東日本大震災に始まり、東日本大震災に終わろうとしております。震災で亡くなられたり、行方不明となられた方に対して、先ずお悔やみを申し上げます。特に涙を誘うのは、重機を駆って、行方不明の小学生の娘さんを探し続ける、母親の姿でした。

私は10月4日～5日と宮城、岩手の被災地を訪れ、岩手県大船渡市立大船渡小学校に参りました。小学校では、津波が迫ってきた時に、車で親御さんが何人か迎えに来ておられたそうです。しかし、校長先生の判断で車に乗せず、直ぐに高台の中学校に避難させたそうです。その結果、幸いなことにタッチの差で子供達が津波に呑み込まれずに済んだのです。小学校では津波に対する訓練を日頃からしており、また瞬時の状況判断のおかげで、子供たちの命が助かりました。

この大船渡小学校の子供たちのために、私たち大阪城南RCは、机・椅子・ロッカー等の備品を贈呈しました。私たち被災地から遠く大阪にいる者にとって、何が出来るか、何をすればお役に立てるかが問われるところですが、一日も早く、子供たちの教育環境を整えてあげるといふのも、その一つの答えと思います。

さて、私たちのクラブでも、毎年12月は年末家族会で、大勢のご家族のご参加をいただいております。今年は、親睦・出席委員長の肝いりで、バレエを身近に見ていただくということで、ロシアクラシックバレエアカデミー（RCBA）（高橋晃子代表）による女性陣や男性陣のダイナミックな踊りを堪能していただく予定です。この外、毎年春には家族会を開催しておりましたが、例えば'09年の春の家族会は趣向を少し変え、吉野山の植林をいたしました。当クラブ会員とご家族、関係先の団体の皆様、計150名で、吉野山・青根ヶ峰で植林をしたのです。会員のご家族の皆様に奉仕活動をお見せする、あるいは共に汗を流して奉仕するというのは、ご家族にロータリー活動を理解していただく第1歩と思います。ロータリーの活動に対する理解が、また一つ増えたと思えました。

最後になりましたが、今年度は岡部ガバナーをはじめ、多くの地区委員を輩出しております。大阪城南RCの会員は、いつもの纏まりの良さを、地区大会でも発揮することが出来、無事大会も終了することができました。

関係者の皆様、本当にありがとうございました。また、特に家族の集いには多勢の家族の方にご参加いただき、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。